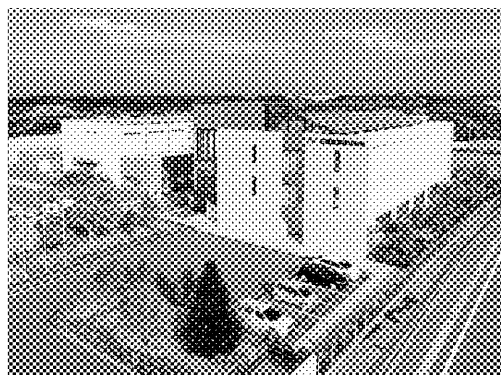


農薬生産技術の研究開発を拡充

石原産業、兵庫に新拠点



石原産業は農薬の生産技術の研究開発拠点「ひょうご小野研究センター」（兵庫県小野市）を設置し、202

5年12月に稼働する。すでに取得していた土地に約74億円を投資し、技術研究棟や合成研究棟などを建設。有機化学事業である農薬生産技術の研究開発機能を向上する。第2期開発用に土地は残っているが、用途などは未定。

ひょうご小野研究センターは技術研究棟が3階建て、合成研究棟は2階建て相当。ユーティリティ設備などを含む延べ床面積の合計は約4450平方メートル。技術研究棟ではラボスケールの実験を、合成研究棟では数百リットルスケールのベンチ設備や数千リットルスケールのパイロット設備などを導入する。ひょうご小野研究センター（イメージ）

▲開設するひょうご小野研究センター（イメージ）

入し、スケールアップに向けた検討などをすすめる計画。

農薬の新規・既存剤の生産プロセス検討による継続的なコスト低減などを図るほか、人材育成にもつなげる。

スケールアップ検討は従来、四日市工場（三重県四日市市）が担っていたが、設備が老朽化していた。研究開発センター設置後は同機能を移す。ラボスケールの実験は引き続き中央研究所（滋賀県草津市）でも行う。